

目次

- 移転記念講演会「多文化共生の視点からみた京都の国際化」を開催… 1
- 「京都にほんごRings」設立20周年… 2
- 京都府の国際化の現状… 3
- 市町村国際交流協会の取り組み、京都府国際センターからのお知らせ… 4

移転記念講演会「多文化共生の視点からみた京都の国際化」を開催

2022年10月の京都テルサへの移転を記念して、12月24日(土)に移転記念講演会を開催し、約100名の方にご参加いただきました。

当センター会長である西脇隆俊京都府知事による挨拶のあと、第一部では山極壽一理事長により、文化的多様性や外国人との共生のあり方に関する基調講演が行われました。

この基調講演につきましては、抄録を作成し当センターのHPに掲載していますので、是非ご覧ください。

基調講演抄録のダウンロードはこちらから

→ <https://www.kpic.or.jp/about/itenkinen.html>



第二部のトークセッションでは、京都精華大学前学長のウスビ・サコ氏と、ウクライナから京都大学に留学し2020年Flora(株)を創業したアンナ・クレシェンコ氏に参加いただきました。

山極理事長がモデレーターを務め、まず両氏がそれぞれ京都での体験や感じている点などを発表した後、それらを踏まえた意見交換が行われました。

最後に山極理事長は「お二人のお話をお聞きして、京都は一層許容力を高める必要があると思いました。京都では様々な文化が入り込むことで今の文化が形成

されてきた。その独自の文化のアイデンティティを保ちつつ、これからも多様な文化を受入れ、いろいろな人々と交流し、京都が多文化共生の点でも世界のモデルになるよう、国際センターを中心に活動していきたい」というコメントでトークセッションを締めくくりました。

全体で2時間の講演会でしたが、参加者からは好意的な感想や意見を多数頂戴いたしました。

当センターは今後も皆さまのお役に立てるよう多彩な取組を実施してまいります。



山極壽一理事長



手前:アンナ・クレシェンコ氏 奥:ウスビ・サコ氏

「京都にほんごRings」設立20周年

京都府内の23の地域日本語教室と個人が加盟するボランティア・ネットワーク組織「京都にほんごRings」は、2002年の設立以来、教室間の情報共有や問題解決のほか、当センターと協働して教室の空白地域の解消や持続可能な教室運営に貢献して来ました。今号では、その活動についてご紹介します。

活動内容

- ・ 定例会・総会(年4回)
- ・ 教室運営情報交換
- ・ ICT活用
- ・ 日本語支援ボランティア養成講座、スキルアップ研修
- ・ 多文化共生社会を考える研修会

養成講座・研修会を開催した地域



その他、詳しい活動状況については、RingsのHPをご覧ください。

<https://www.kyo-rings.net>



渡部代表へのインタビュー

—これまでの活動で大切にされてきたことは何ですか。

振り返れば3つあります。最初は戸惑いでしたが、ボランティアではどんなに時間がかかってもとことん話し合うこと。これは多様性への寛容だと知りました。それと定例会を続けたこと。また関われる人ができる範囲で活動すること。これらが20年に繋がったという自負があります。

—今年度、日本語教育の分野で団体として初めて文化庁長官表彰を受けられましたが、どのように受け止めていますか。

表彰は幸運というかご縁もあってのことですが、Ringsが空白地域の日本語教室の立ち上げに貢献したことが評価されたことは素直にうれしいです。

またRingsはメンバーを繋ぐネットワークですので、日本語教室で活動しているメンバーひとりひとりの熱意の結集への表彰とも言えると思います。

—地域の多文化共生をさらに進めていくために、Ringsとして今後どのように取り組んでいきたいと考えていらっしゃいますか。

外国人も住民であり、納税者でもあり、共に社会を支えるメンバーであるということ、日本人みんなが認識し、意識の変化に繋がるような活動をしていきたいです。これは個人的には孫子(まごこ)のために実現させたい大切なことだと思うので、他府県との連携も必要になるかもしれません。関われる人がいれば・・・の話ですが。

専門家の日本語教室とは別に、拠点としての地域の日本語教室運営のため、Ringsではいままでどおり、情報交換や勉強会を続けることがよりよい活動に繋がると考えています。

京都にほんごRings20周年記念事業 地域日本語教室シンポジウム 「地域の日本語教室と多文化共生のこれから」開催報告

■2023年1月28日(土) ■オンライン(Zoomウェビナー)

■参加者:214名

基調講演の中で、ウスビ・サコ氏(京都精華大学前学長)は、外国人住民との共生社会の実現のためには、多様性を認め合う環境づくりが必要であり、日本語教室が「地域社会の拠点」としてその重要な役割を果たしていくことに期待を示しました。パネルディスカッションでは、文化庁、京都府、当センターの職員と府内の2つの教室の代表が地域日本語教室の課題と今後のあり方について話し合いました。今後は地域の実情を踏まえながら、専門家を活用した行政による公的な住民サービスとしての「日本語教育」と、ボランティアによる従来の「日本語学習支援」を両輪で進めていくことを確認し、閉会しました。



サコ氏による基調講演

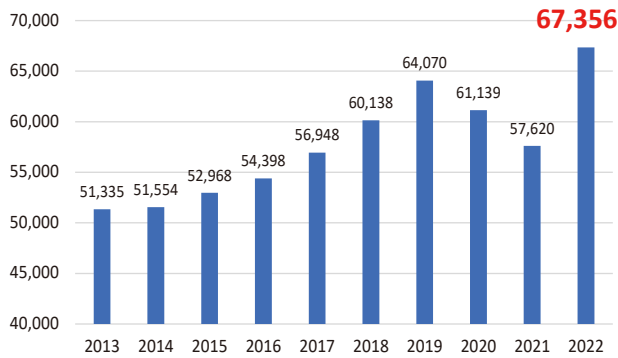


パネルディスカッション

京都府の国際化の現状

外国人住民数の推移

(単位:人)

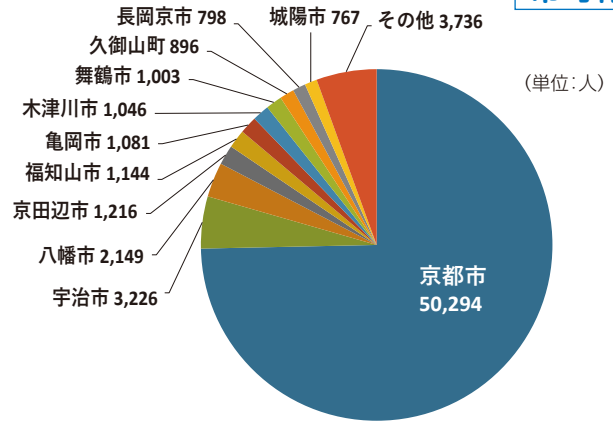


156の
国と地域

京都府の外国人住民数はコロナ禍を経て、前年より約1万人増え、過去最多の67,356人となりました。少子高齢化が進む京都府において外国人住民は地域社会の担い手として重要な役割を担っており、多文化共生社会の形成に向けた地域づくりが求められています。

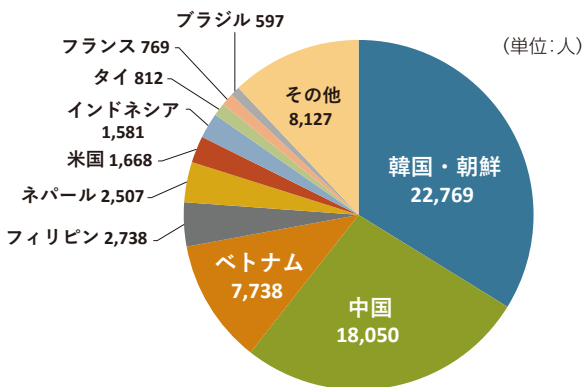
京都府の推計人口：2,546,951人(2023年1月1日現在)
うち外国人住民数：67,356人(2022年12月31日現在)
外国人住民の割合：2.64%(約38人に1人)

市町村別



外国人住民の約75%が京都市に集住しており、残りは府内各地域に散在しています。外国人比率の高い順に、久御山町(5.99%)、宇治田原町(4.62%)、京都市(3.48%)、八幡市(3.10%)、井手町(2.89%)と続きます。

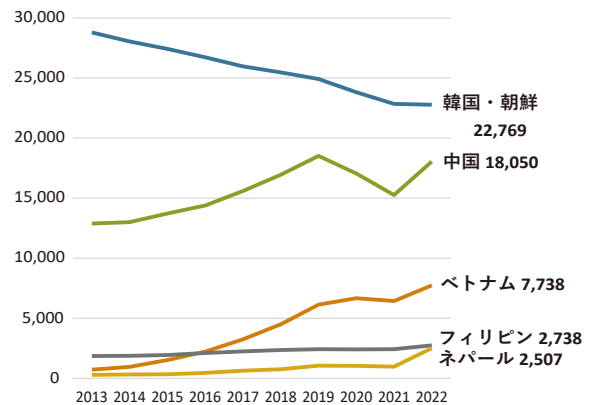
国籍別



近年、アジア圏からの外国人住民が増加し、言語や文化も多様化しています。

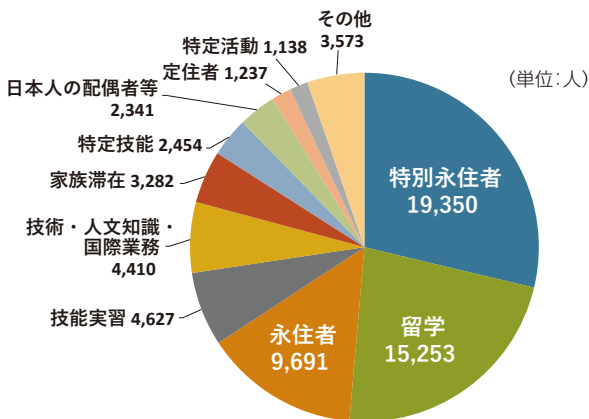
上位5位の住民数の推移

(単位:人)



韓国・朝鮮が減少傾向にある一方、中国、ベトナム、ネパールが増加しています。

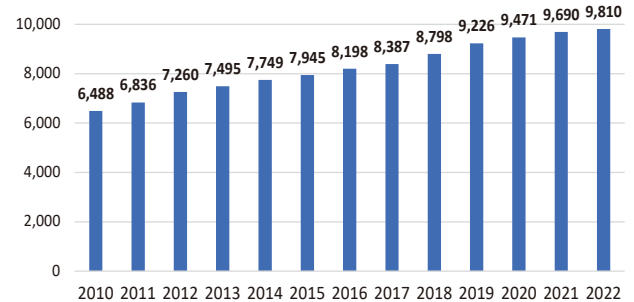
在留資格別



コロナ禍で一時的に減少していた留学生や技能実習生が増加し、特定技能や家族滞在の在留資格も増えています。

京都府の永住者の推移

(単位:人)



「永住者」はこの約10年で1.5倍に増加し、外国人住民の「定住化」の傾向がうかがえます。

注：京都府国際課調査(2022年12月31日現在)を元に、当センターがグラフを作成しました。
永住者の推移は、法務省在留外国人統計(各年12月末、2022年は6月末)の数字に基づいています。

市町村国際交流協会の取り組み

京丹波町 未来につながる「対話」ワークショップ

2023年2月11日、京丹波町役場の大会議室で「対話」をテーマとしたワークショップが開かれました。外国人住民と日本人住民が楽しく集える地域コミュニティの拠点づくりに向け、同町の国際交流協会が企画したもので、外国人住民を含む26名の方が参加しました。

第1部では、同志社大学のベティーナ・ギルデンハルト准教授のファシリテーションのもと、地域で暮らす外国人住民とどのように交流を図ったらよいか、寸劇や漫画を通して考えました。相手を先入観で捉えず、対話を重ねながら個として理解することが対等な関係を築く上で重要であることを学びました。その後、参加者たちは「まちカタルカ」というカードを使って、京丹波町の魅力やおすすめスポットなど共

通の話題で語り合い、意気投合。第2部では「これからやってみたいこと」について、グループに分かれてアイデアを出し合い、今後につながる形でワークショップは終了しました。



京都府国際センターからのお知らせ

●京都府多言語生活相談(23言語)

生活に関する相談に多言語で対応します。

【専用電話】075-681-4800(通話料はかかりません)

【受付時間】10:00-17:00(火曜日、祝日、年末年始を除く)

【メール】soudan@kpic.or.jp(日本語・英語のみ)

※Zoomによる相談も可

www.kpic.or.jp/soudan/tagengo.html

●災害時外国人サポーター募集中!

災害時、日本語の理解の難しい外国人住民の方に、災害に関する情報を外国語や「やさしい日本語」に変換して伝えたり、相談に対応するボランティアを募集しています。

詳しくはセンターHPをご覧ください。

<https://www.kpic.or.jp/saigai/appli.html>

～賛助会員を募集しています～

当センターが実施する様々な地域国際化事業や団体運営の財源に充てるため、趣旨にご賛同いただける皆さまを対象に賛助会員を募集しています。

【会費】個人会員/年額 1口 3,000円
団体会員/年額 1口 10,000円

- 【特典】
- ・センター情報誌など定期刊行物の送付
 - ・当センター主催の各種講座等への優先参加
 - ・当センター内の有料スペースを会員料金で利用可能
 - ・他団体との提携による会員特典

入会方法など詳しいことはHPをご覧ください。

www.kpic.or.jp/about/sanjo.html



パスポート写真撮影のご案内

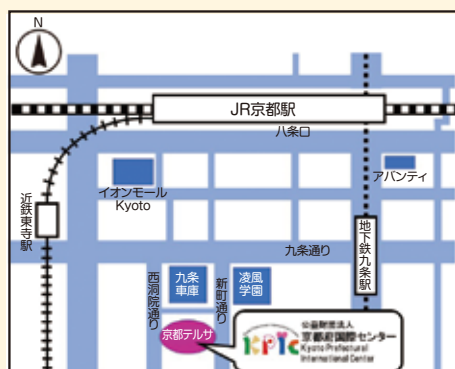
パスポートの規格に合った写真を責任を持って撮影します。

【場所】京都駅ビル8階
(京都府旅券事務所の隣に併設)

【営業時間】月曜日～金曜日 10:00～16:30
(13:00～13:45 除く)

【撮影料金(税込)】
2枚 1,430円 / 4枚 1,980円

【お問い合わせ】
TEL 075-342-5002



公益財団法人京都府国際センター

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ東館3階

Tel : 075-681-2500

Fax : 075-681-2508 E-mail: main@kpic.or.jp
www.kpic.or.jp

facebook www.facebook.com/kpic.kyoto

開館時間 / 午前10時～午後6時

休館日 / 火曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

公益財団法人京都府国際センター NEWS Spring 2023 春号 第98号
編集・発行 / 公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center

